



平成20年11月12日

各 位

上場会社名 **清水建設株式会社**
 代 表 者 名 取締役社長 宮本 洋一
 上場取引所 東証・大証・名証各第1部
 コード番号 1803
 問 合 せ 先 経 理 部 長 渡辺 英人
 TEL 03-5441-1111 (大代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成20年5月15日の決算発表時に公表いたしました、平成21年3月期の通期業績予想（連結・個別）を、下記のとおり修正しますのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,970,000	41,500	39,000	24,000
今回予想 (B)	1,950,000	32,000	30,000	16,000
増減額 (B)－(A)	△20,000	△9,500	△9,000	△8,000
増減率 (%)	△1.0	△22.9	△23.1	△33.3
(参考)前期実績(平成20年3月期)	1,685,059	52,250	48,345	27,047

2. 個別業績予想の修正

平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,750,000	31,000	30,000	19,000
今回予想 (B)	1,740,000	24,000	23,000	12,000
増減額 (B)－(A)	△10,000	△7,000	△7,000	△7,000
増減率 (%)	△0.6	△22.6	△23.3	△36.8
(参考)前期実績(平成20年3月期)	1,459,528	37,081	35,281	19,025

3. 修正の理由

金融危機の世界的な広がりや、株式・為替市場の急激な変動などから、景気は後退局面が一段と強まる中、建設業界においては、政府の経済対策が期待されますが、住宅・不動産投資は減退の傾向を強めるなど、建設市場は一層厳しさを増すものと予測しております。

このような厳しい経営環境の中、最近の業績動向を踏まえ、通期の業績予想を下方修正いたしました。

<個別業績予想>

海外大型工事を中心とした請負金の追加獲得交渉の難航や資材価格の高騰などにより、建設事業の採算が悪化する見通しとなったこと、また、不動産市況の低迷を受け、下期に予定していた投資開発プロジェクトの売却を見合わせたことなどから、営業利益及び経常利益は、前回予想より70億円減少する見込みです。

なお、金融市場の混乱が長期化し、株式市場は不安定な状況が続いていることから、特別損失に保有株式の減損損失を見込んだ結果、当期純利益も、前回予想より70億円減少する見込みです。

<連結業績予想>

個別業績予想の修正に伴い、関係会社の業績予想をあらためて見直し、連結業績予想を修正したものです。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報を勘案して作成しています。このため、今後の経済情勢の変化等によって、実際の業績は異なることがあります。

以 上